

陳 情 文 書 表

(総合企画局)

受 理 番 号	3 0 4 0	受 理 年 月 日	令 和 7 年 5 月 12 日
件 名	北陸新幹線延伸計画に係る住民説明会開催の働き掛け		
要 旨	<p>現在、国や独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「機構」という。）において、諸調査等が続けられているとのことだが、地下水への影響や掘削残土の処理、膨大な財政負担等々、多くの懸案事項の内容が明らかにされず、疑念が払拭されないまま事態が推移している。去る3月25日には、府内自治体対象の説明会が開かれたが、これ自体、非公開で、一般府民・市民は全く蚊帳の外に置かれた状態であった。私たちは、市民向け説明会の開催を求めている。</p> <p>自治体へ説明したからといって、市民に説明しなくていい訳ではない。住民こそが、直接的な影響を受ける対象である。地下水をなりわいの糧とされている事業者にとっては、今回の自治体向け説明会の沿線70メートルはあまりにも狭すぎ、これまでの市内での地下工事による経験等から言っても、到底納得できるものではない。私ども南区民にとっては、どちらのルート案にしても区内を通過することから、立退きを迫られるか、それとも何の補償もなく家の地下深く掘削工事が進められたり、高速列車が行き来したりということになるだろう。東京や広島等では、同様の工事で地面が陥没したり家が傾いたり等の被害が出ていることは、既に御承知のとおりである。3月の説明会では、こういう心配にも、また輸送業務の最大の使命である安全面の問題についても、何も触れられていなかった。東海道線の代替とのことだが、地震時等、長大地下トンネルなのに、京都延伸路線だけは安全との保証はどこにあるのだろうか。</p> <p>広く市民的な議論への材料の提供という意味でも、市民への情報公開、説明会の開催は不可欠である。以前、私たちは、当時の情報詳細について、機構宛てに情報公開請求をしたが、全て非公開という返事であった。</p> <p>しかし一方で、機構主催の一般市民向け説明会が京都市内各地で開かれ、その各日程や会場等について、地方紙でも紹介されていたという経過もある。南区会場では、2019年12月25日、京都テルサを会場に説明会も開かれていた。</p> <p>については、北陸新幹線京都延伸計画について、国や機構に対し、議会として住民説明会開催を求めること、京都市からも開催を求めるよう議会から市長に求めることを強く願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	総 務 消 防 委 員 会		